



いいもの成らせるさくらんぼ便り

vol.9 野ネズミ対策を万全に！ネズミには、もう食べさせない！

1 野ネズミ対策

根雪期間が長いと、野ネズミの被害が多くなる
特に被害に遭いやすい苗木・幼木（アハザクラ台）は万全な対策を！

(1) 野ネズミが住みにくい環境を作ろう

【対策1】隠れる場所を作らない → 園地の草刈り、幹回りの除草

【対策2】作物残さ等エサになるものを置かない

(2) 苗木・幼木の保護

- ・地際～地上1mまで 金網で覆う（消雪後に外す）
- ・冬期間は、金網が見える程度まで雪を掘り上げておく
- ・2月下旬以降は、融雪剤を幹回りに施用する
- ・雪が解けて幹周りに隙間ができたなら踏み固める



【金網設置の様子】

(3) 野ネズミの密度を下げよう

被害軽減には広範囲で対策し、個体数を少なくすることが最も重要

【対策1】巣穴に殺そ剤・毒エサを投入する方法

◇ 現在ネズミが出入りしている「生き穴」に投入する

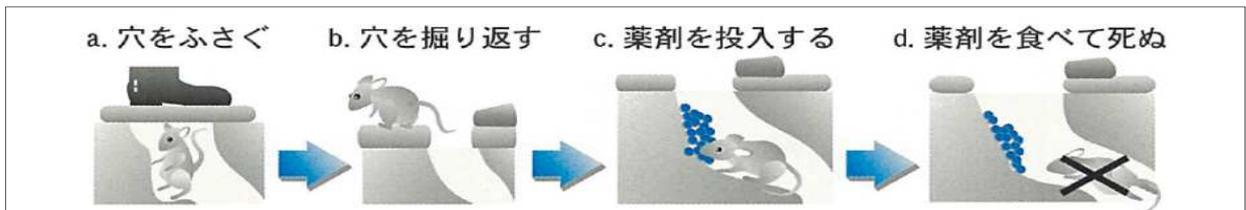
※「生き穴」の確認方法：

前日に穴を埋めて翌日開いているのが「生き穴」



【生き穴の特徴】

- ・穴がきれい
- ・入口周りに草がない



ネズミ防除要覧(大塚薬品工業株式会社)より引用

【対策2】餌場を作って殺そ剤を設置する方法

◇ 餌場の設置：雨の当たらない暗所。

縦に割った塩ビ管、古タイヤ、枯れ草・稲わらなど

◇ 餌場の間隔：4個/10a程度（樹からある程度離す）

◇ ダイファシン系粒剤等の遅効性殺そ剤（累積毒）を使用するのが有効

※即効性の殺そ剤は、野ネズミに警戒されやすい

※薬剤の使用にあたっては使用量、使用方法を遵守すること

裏面に続く

2 休眠期防除

- ・樹脂細菌病の発生が見られる園地では、I Cボルドー66D 40倍を落葉後に散布
- ・コスカシバの発生が見られる園地では、ラビキラー乳剤 200倍を落葉後なるべく早い時期に枝幹に散布

3 雪害対策

**降雪前、積雪後の対策で被害の軽減を！
特に初冬のまとまった積雪は、水分が多く重いので注意**

(1) 降雪前の対策

① 樹体被害の回避

- ・主枝等の大枝に支柱を設置（まっすぐ立て、外れないように結束）
- ・降雪前に、混みあう枝を間引く「粗剪定」を実施
- ・苗木や若木は支柱を立て、横枝もまとめて結束する

② 施設被害の回避

- ・雨樋の下にパイプが無い場合は、補助支柱を追加し補強



防鳥ネットは外すかまとめる

(2) 積雪後の対策

① 雪下ろしと枝の掘り上げ

- ・大雪時は速やかに樹や施設の雪を下ろす

要注意！

樹：大枝や分岐部

施設：雨樋やパイプの交差部

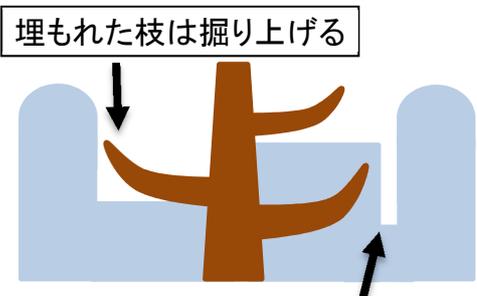
- ・埋もれた枝は、雪の沈降前に掘り上げる

② 融雪剤の散布

- ・散布量 40kg/10a程度
- ・散布時期
2月下旬以降
多雪年は1月下旬頃から随時
降雪で融雪剤が見えなくなったら再散布



ハウスバンドを張ったままの施設はこまめに雪を下ろす(着雪防止)



埋もれた枝は掘り上げる

枝の掘り上げが困難な場合は周りに溝を掘る